



生衛えひめ

一般社団法人 愛媛県生活衛生同業組合連合会
 公益財団法人 愛媛県生活衛生営業指導センター
 [理容・美容・クリーニング・興行・旅館・食肉・公衆浴場・中華料理]
 [料飲・すし・商・食鳥肉・喫茶・社交飲食]
 松山市本町7丁目2 愛媛県本町ビル2F
 TEL(089)924-3305(代表) FAX(089)924-3304
 発行人/大森利夫

第50回記念 生活衛生推進大会(一面)
 新たな価値を知ろう= SDGs(持続可能な開発目標)(二面)

だより



第50回記念 生活衛生推進大会 変化こそ唯一の永遠である

第50回記念愛媛県生活衛生推進大会を、昨年11月6日、松山市内のリジェール松山で、関係者ら約150人が参加して行った。

第1部の生活衛生13業種が取り組む社会的役割の発表会では身近な出来ることからと「生活衛生業のSDGsの取り組みについて」のマスコミを対象とした記者発表を実施した。環境保全を中心とした「サービス」「販売」「飲食」それぞれの分野に分けて「生活衛生版SDGs」を紹介するとともに、令和5年度地域包括支援事業についての説明も併せて行った。(2面掲載)

その後行われた推進大会第2部の第50回記念式典では県生活衛生同業組合連合会(以下、「県生活衛生連合会」)の谷泰臣副会長の開会宣言の後、全国生活衛生営業指導センター理事長でもある県生活衛生連合会の大森利夫会長が挨拶し、「生活衛生界が一同に会した推進大会も50回を迎えました。私が連合会長になって20年となるが、平成16年には子供を悲惨な事故から守るための「生活衛生子ども110番まもる君の店」をスタートし、その後、高齢社会への対応としての「高齢者特別メニューや高齢者に選ばれのお店づくり総選挙」を実施、また愛媛のキャラクターみきゃんのゆるキャラグランプリへの応援。さらには、愛媛国体の応援では国体にぎり飯コンテストの実施。また平成23年には、愛媛県知事さんとの災害時支援協定を締結し、平成30年7月の西日本豪雨の時には、この協定に基づき、被災された方々への支援活動を行いました。令和に入っては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を行政と共に進めました。あの日本画家の横山大観が将来の師と仰いだ岡倉天心の言葉「変化こそ唯一の永遠である」に習い、その時々の変化に応じた取り組みを続けてきたつもりであります。今後とも、皆様の叱咤・ご指導をよろしくお願い致します。」と述べた。

つづいて、生活衛生業の発展に貢献のあった方への表彰が行われ、愛媛県知事表彰の後、第50回記念特別表彰の功労賞や県生活衛生指導センター特別表彰等々があつた。(表彰関係者は別掲)

その受賞者代表には、知事表彰はクリーニング業の玉井辰司さんが、また第50回記念特別表彰を理容の吉村則男さんが、さらに連合会長表彰を社交飲食の水野治代さんが、また事務職員を対象とした感謝状を食内の藤井美幸さんが、さらには県生活衛生指導センターよりの特別功労賞に石丸祐子さんが、また同理事長感謝状を経営特別相談員の門田完司さんが受け、受賞者を代表して知事表彰の旅館ホテルの太田一郎さんが謝辞を述べた。

その後の来賓祝辞では、中村時広知事から、「50回の推進大会の開催おめでとう。皆さんの業種は県民生活に密接にわかりがあり、住みよい地域社会づくりに直結しているため、県の発展には欠かせないもので、50年の歩みで県とタイアップを続けていただいたことに感謝します。この3年間の新型コロナウイルスとの戦いは、折衝無理な要請もりましたが、県民の命を守るためと受け止め、協力いただきました。今は、ウイズコロナ・アフターコロナでの活動をと、10月からソウル便のデイリー運航、釜山便の週3便も軌道に乗りました。今後は、リピーターを生まない地域活性化にむすびつかないため、皆さんの業界も東予、南予も含め多彩な魅力づくりの力になって下さい。また心配なのは人口減少であり、移住者の増加にも努め、愛媛の未来に結び付けたい。この難しい時代をチーム愛媛で活性化したいので今後とも連携をお願いします。」と語った。

さらに、来賓を代表して、山本順三参議院議員から、「コロナ禍が過ぎ、人手不足が予想以上に進んでいます。これ乗り越えて、SDGsや地域包括ケアシステムなど新たな流れと、新しい愛媛を築く先人として皆さんが活躍されることを期待します。」との挨拶があつた。

次に、諏訪克之厚生労働省生活衛生課長が、「新型コロナウイルスは5月から5類に位置付けが変更され、経済活動も活発になる中、足元では物価高騰、賃上げ対応の問題など、困難な状況が続いています。今後の本格的な少子高齢社会の到来を考えると、地域社会の中で多様化していくニーズに対しての取り組みが重要になります。先の発表会で、SDGsの推進と地域包括ケアシステムとの連携事業を聞かせていただきましたが、組織力と業種間の横断的なネットワークの強みで可能性を切り開いてください。」と語った。

また続いて松山市長代理藤田仁副市長、愛媛県議会議長代理福羅浩一副議長の祝辞もあつた。この後、「県民生活のより安心・安全な暮らしに貢献するべき、私共の連合会のネットワークを活用しながら、より良い社会づくりに務める」という大会宣言を喫茶業生活衛生同業組合の渡邊博幸理事長が、「SDGsの推進や高齢者の生活支援等」との決議を興行生活衛生同業組合の佐々木淳理事長が、さらに万歳三唱を県議会衛生議員連盟中畑保一会長が行い式典を終了した。

引き続き、第3部の第50回記念祝賀会に移り、乾杯の発声で、全国生活衛生同業組合中央会の伊東明彦専務理事が行い、4年ぶりの懇話会を開催し、来賓の方々と、出席者が歓談し、愛媛県生活衛生営業指導センターの大木正治理事長の閉会のあいさつで大会の幕を閉じた。



令和2年・新型コロナ対応



平成16年 生衛まもる君の店スタート



みきゃんのグランプリ獲得を!と応援メッセージをおくる中村知事

(平成27年)

平成12年 環境法が生活衛生法に改正

昭和55年 全国環境指導センター設立

昭和45年 愛媛県環境指導センター設立

昭和42年 第1回愛媛県環境衛生推進大会開く

昭和37年 環境公庫スタート

昭和32年 愛媛県連絡協議会設立

6月環境法成立(現在の生衛法)、全国環境衛生連合協議会設立

知事表彰

「理容」池内良二(今治、清水好之(八幡浜)

「クリーニング業」玉井辰司(松山)

「旅館ホテル」菊川聖吾(今治、太田一郎(大洲)

「食肉」音羽政之(松山)

「中華料理」日野忠司(松山)

「料飲業」越智吉雄(西条、富田正治郎(松山)

「公衆浴場業」井村勝利(今治)

「すし」商「猪谷英行(松山)

第50回記念特別表彰

「理容」吉村則男(愛媛)

「クリーニング業」豊内光(今治)

「旅館ホテル」松岡孝八(幡豆)

「食肉」上田修司(松山)

「料飲業」山口正純(宇和島)

県生活衛生指導センター理事長感謝状

「旅館ホテル」重松寿(松山)

「中華料理」東松(松山)

「料飲業」門田完司(八幡浜、正岡宏子(今治)

「すし」商「庭瀬香代美(松山)

第50回記念県生活衛生指導センター特別功労賞

石丸祐子(松山)

県生活衛生指導センター理事長感謝状

「旅館ホテル」泉一郎(松山)

「美容業」井上なつみ(西予)

「興行」佐々木淳(松山)

「すし」商「藤瀬香代美(松山)

「社交飲食業」多田昇弘(松山)

「料飲業」北岡正壽(伊予)

令和5年度各種表彰受賞者

旭日双光章

「料飲業」砂田市雄(今治)

厚生労働大臣表彰

「美容業」泉とみ子(松山)

「公衆浴場業」松下茂生(宇和島)

「旅館ホテル」河内広志(松山)

厚生労働大臣感謝状

「料飲業」良野一生(松山)

厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰

「食肉」一色仁(伊予)

全国生活衛生中央会理事長表彰

「理容」玉井護(伊予)

「美容業」井上なつみ(西予)

「興行」佐々木淳(松山)

「すし」商「藤瀬香代美(松山)

「社交飲食業」多田昇弘(松山)

「料飲業」北岡正壽(伊予)

2024年 年頭所感

前例踏襲を止め、勇気ある変化を



全国生活衛生営業指導センター理事長
 愛媛県生活衛生同業組合連合会長
 大森 利夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、第50回記念愛媛県生活衛生推進大会をはじめとする連合会の事業推進に對してご理解、ご協力を賜り感謝の極みであります。振り返りますと長期に及んだ新型コロナウイルス感染症も感染法上の位置づけが5類に移行して、ウイズコロナのもと社会活動の正常化が進み各種イベントの再開や多くの

外国人観光客の姿を見かけるようになってまいりました。

しかし、ロシアによるウクライナへの侵襲や、イスラエルとイスラム組織ハマスとの戦闘など国際情勢は緊迫度が高まり、日本経済においても物価高騰の中、価格転嫁がしにくい生活衛生業種は厳しさが一層増した一年でもありました。こうした表情の中にあつても、愛媛県生活

衛生連合会では愛媛県生活衛生営業指導センターとの連携による生活衛生支援ニーズ発掘のための巡回指導をはじめ、専門家による相談・支援事業さらには地域に根差した生活衛生業として「住みなれた地域で、自分らしい生活ができるための地域包括支援事業やSDGs(持続可能な開発目標)の推進等々、知恵を絞って「忙中閑あり」で改善の策を練って実行してまいりました。物価高騰をはじめ、人口減少、労働力不足がますます進む中にあつても、国の補助金などを活用しての新メニュー開発やインバウンド事業など海外交流の中で儲かる業づくり道を進んで行かなければなりません。

トーマス・エジソンの「失敗するほどに、我々は成功に近づいている」の言葉を信じて、前例踏襲を止め、勇気ある変化をめざし本年も努力を重ねますので、旧年に倍してご指導賜りますようお願い申し上げます。

日本の国民食! お弁当

代々木の窓から 大森 敬夫(利夫)

昨年の9月の全国理容競技大会の昼食には、北海道の理事長の奥さんがふるさとを思い出す塩味の素朴な「おにぎり」を用意してくれた。そのおかずには大会のお弁当を思い開けてみたが、おかずになるものが見当たらず、そのまま置いて弁当談義に入った。すると1992年理美容の世界チャンピオン田中トシオさんが、「どおれ、それじゃ一口」といって口にすると、「食べられないことないじゃない」といって口にしようとした。そして「空腹は最高の調味料よ」と小さな声でいった。私は自分の贅沢が恥ずかしくなった。小説「ドンキホーテ」の中でも「空腹は最高の調味料よ」とある。一昨年前の秋田県での全国大会では、昼食弁当に少しであったが秋田名物の蕨菜(じゅんさい、ぬなわともいふ)が入っていた。「じゅんさい」は水面に葉を浮かべ、茎からのぶるとした新芽。夏の季語で、蕨菜を除いて少年鮒を釣るといふ俳人の句もある。秋田県の一人は弁当のひとつにも気を配ったと語っていた。愛媛で行う理容全国大会を今年の10月に予定している。大会予算は最小限だと思っているが、せめて食べ

物だけは最善のおもてなしと考える。食には地方の文化があり、特に日本のお弁当は素晴らしく、外国の映画やテレビ等で見るランチボックスのサンドイッチにフルーツを詰め合わせた簡単なものとは異なり、お弁当の工夫が詰まっている。駅弁大好き小林稔彦演じる駅弁刑事のテレビドラマを見るが、私の故郷・松山のJR駅には醬油めし弁当があつた。全国では300鉄道駅に2000種類以上の駅弁が売られているという。北海道の「いかめし」に宮城の「牛たん弁当」、東京の「あさりめし」に兵庫の「ひっぱりたこ飯」等々、御当地弁当がある。だし巻き玉子に鶏の照焼き弁当と遠足の思い出弁当はいつまでも記憶に残っている。愛媛での全国大会はこの秋、時代を超えて、日本の国民食「お弁当」。その費用には限界があるが味だけは試食などして最高のおもてなしをしてみたい。あの北海道大会の昼食弁当、私と並んで食していた長老はお米の一粒も残さず「ごちそうさまでした」と一言。「空きお腹にまずいものなし」との余計な一言は口にチャック!「穴あらば入りたし」の心境だった。





新たな価値を知ろう=SDGs(持続可能な開発目標)

愛媛の生活衛生版を記者発表

今を生きる者の務め 新聞対談



中村時広愛媛県知事、そしてJT(日) 大森利夫会長は、

昨年の11月2日、大森利夫会長は、本たばこ産業の小林貴洋愛媛支社長と、持続可能なふるさと愛媛の未来について語り合った。

その中で、小林支社長の「よりよい明日を創るため、地域の皆さんと社会の課題に向き合っていきます」の言葉に、中村知事は「目指すべき愛媛の将来像の理念にそって、37の施策をSDGsとひも付け、各種施策や、全県で推進するためのワーキンググループの設置や好事例の情報の共有や、部局の横断的展開を図っています」と語った。

また大森会長は「SDGsについては、身近なところからSDGsの目標を達成し、地域活性化につなげていくことが重要だ」と述べ、

環境問題・SDGsについて



「生活衛生版SDGs」を発表する大森会長

第50回記念生活衛生推進大会の開催に先がけ、県生活衛生連合会では、13業種の理事長が集まり、環境保全を中心とする「生活衛生版SDGs」への取り組みと令和5年度地域包括支援事業についての記者発表を行った。

大森利夫会長が、「国連が2030年までに達成を目指している17分野におけるSDGsへの取り組みは次世代につながる大切な要素が詰まっている。私たちも身近な出来ることからチャレンジしよう」と述べ、全体の活動内容を発表した。

生活衛生業のサービス・販売・飲食それぞれに分けてのサービ部門から説明します。理容では、目標7の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」をめざして、平成18・19年頃から、クールビズに取り組み、標語の募集やキックオフイベントへの参加を行っています。最近では、脱プラスチックということで美容組合も同じですが、プラスチック代替の紙製品への移行や、容器も詰め替えを使用するなど呼びかけています。また植物由来のバイオマスプラスチックの活用などに努めています。

クリーニングでは、受取のハンガールの再利用に取り組みんでいます。興行では、目標3「すべての人に健康と福祉を」で、映画館等での受動喫煙の防止とLED照明への移行に取り組んでいます。公衆浴場では、目標11の「住み続けられるまちづくりを」の地域防災拠点として給水や支援助物の受け入れなども考えています。

次に飲食部門では、食品ロスをゼロにということで、食べ切り運動を実施しています。旅館ホテルでは30分運動として、乾杯後の30分とお開きの10分で完食してもらおうと、「美味しい食べ切り運動事業所」の登録や小サイズメニューの提供も行っていきます。そのほか、割り箸の削減、紙トレイなどの紙製品や新素材のトライタン製カップなどの使用。太陽光発電などのエネルギー節約にも努めています。

また目標の5「ジェンダー平等を実現しよう」をめざし、社交飲食組合において女性役員の登用と共に目標17の「パートナーシップで目標を達成しよう」と繁華街での清掃活動なども行っています。

次に販売部門は食肉と食鳥肉販売ですが、目標12「つくる責任 つかう責任」として、高度の品質管理や包装のナイロン等の紙製品への移行、廃棄物の削減、LED照明などに努めています。

SDGsは、「誰一人取り残さない」を基本理念にしており、非常に高いハードルですが、時代に合った方法でこれからも活動を続けていきます。

高齢者ばかりではない

「食肉」清水豊一 副理事長

食肉組合では、12月上旬に松山市内の2つの高齢者施設を訪問して、主にデイサービスの利用者2施設60名に対して、県産の牛肉・豚肉・鶏肉の訪問焼肉を実施し、アンケートで高齢者が好む肉や味付けを調査して情報提供、交換の場所とした。

「旅館ホテル」大木正治理事長

旅館ホテルでは、12月上旬に、松山市内の高齢者に呼び掛けカラオケ大会を考えている。カラオケで、声を出すことは高齢者にとって健康そのものです。道後温泉の入浴券も抽選で配りたい。

「公衆浴場」矢野房義理事長

公衆浴場は、組合独自のサービスとして、12月冬至の日に「ゆづ湯」のサービスを銭湯で実施。また高齢者が浴場内で転んだり、足腰が弱っていることもあり、手すりや少し高めの椅子も設置に心がけています。

「興行」佐々木淳理事長

従来からシニア向けのサービス料金設定をされており、以前は夫婦50割で夫婦どちらかが50歳以上のサービスでしたが、最近はLGBTQ+の観点から、男性・女性どちらかが50歳以上であれば割引が適用できるようにして、文化的・エンターテインメントの広がりにも触れていただきたいと思います。

「クリーニング」業瀬山一俊理事長

クリーニング業は、12月1日から、県下のクリーニング加盟店において65歳以上で在宅の介護が必要な高齢者を対象に、寝具、シーツ、毛布、寝間着などの集荷・配達を行い、高齢者の負担軽減を図ります。

「美容業」谷泰臣理事長

美容業は、入院している高齢者を対象とした訪問美容を予定しており、11月13日、12月4日、12日、18日に東温市の愛媛十全医療付属病院で、入院高齢者へのカット、カラー、シャンプーなどを高齢者の体状況により実施します。

「理容」大森利夫理事長

「新年を気持ちよくすっきりとむかえて」のテーマで、12月に新居浜、松山、宇和島、鬼北、津島の施設で訪問理容サービスを実施します。

「社交飲食業」多田晃弘理事長

社交飲食業組合では、1月中旬以降に、松山市内の高齢者施設において、食事制限のない高齢者を対象に、地元食材を使った鍋物の新商品を試食してもらい、アンケートを取り、改善したものを今後提供していきたい。現在実施場所を募集しています。

「喫茶業」渡邊博幸理事長

喫茶業組合では、「高齢者の日サービスデー」と銘打って、12月の中旬に組合加入の10店舗程度で、こ来店いただいた高齢者に対して、健康や栄養価等に配慮したメニューを提供します。本格的なコーヒーの苦味を抑えたマイルドな味や、ノンカフェインの豆など、また季節の果物やスイーツを食べやすくするなど、また季節の果物やスイーツを食べやすく、ノンアルコールのカクテルを提供して、色など見た目を楽しんでいただき、好評であれば、来年度から高齢者サービスデーを決めて続けます。

「すし商」川中勇理事長

すし商ですが、私どものお店で高齢者の方たちを招き、お寿司の講習、魚の食べ方、魚のおろし方などを実施して食生活にも関わります。また、出前ボランチアでは、2月に高齢者施設へ出向き目の前で握った寿司を食べてもらうことを考えています。

「料飲業」砂田市雄理事長

料飲業組合では、12月の中旬に松山市内の小規模多機能ホーム3町で、施設入居者約30名を対象に、地域包括支援センターなどと連携して、高齢者が食べやすいメニューなどを参考に、鯛めしやおでんなどの実演料理を含む出前サービスを提供します。

「中華料理」長沼一喜理事長

中華料理組合では、65歳以上を対象として高齢者向けメニューの試食講習会を12月5日、松山市久米公民館南久米分館で実施します。中華料理は脂質というイメージがありますが市内の調理師が現場に向いて高齢者メニューを用意しています。初めての試みですがこれが恒例となればと思っております。

「中華料理」長沼一喜理事長

中華料理組合では、65歳以上を対象として高齢者向けメニューの試食講習会を12月5日、松山市久米公民館南久米分館で実施します。中華料理は脂質というイメージがありますが市内の調理師が現場に向いて高齢者メニューを用意しています。初めての試みですがこれが恒例となればと思っております。

地域包括支援事業について

◆昨年末から今年3月にかけて、それぞれの組合が「技と味覚で高齢者に笑顔」をテーマとして、高齢者施設等に出向いて行う地域包括支援事業の実施内容を業種別に発表した。

【ご挨拶】 日本政策金融公庫 松山支店 支店長 八嶋 康則

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことで街に賑わいが戻り、インバウンド旅行者数がコロナ前の水準に回復するなど、我々が待ち望んだ「日常」が徐々に戻りつつあります。物価高や人手不足など克服すべき課題はまだ山積しておりますが、コロナ禍に比べ、前向きにご商売に取り組める環境が整いつつあるものと実感しております。

新たな年は、こうした景気回復の動きが全国各地、そして各階層へ浸透することを願うとともに、生活衛生関係営業を営む皆様方におかれましては、これまでどおりの衛生管理と、たゆまぬ営業努力によって、業界振興・地域活性化の牽引役として、ますますご活躍されますことをご期待申し上げます。

私ども日本政策金融公庫におきましては、事業者の皆様からのご融資、条件変更などのご相談に対し、引き続ききめ細やかに対応していくことはもちろんのこと、創業支援や事業承継支援にも積極的に取り組んでまいります。

また、経営工夫事例を掲載した『生活衛生だより』の発行や各分野の専門家を講師に招いた『課題解決セミナー』の開催など、経営に役立つ情報発信にもより一層注力し、前向きにご商売を展開される方々のバックアップにもこれまで以上に努めてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



組合員のみならずを応援！

日本公庫の振興事業貸付

ご融資額	1・5,000万円以内 2・7,000万円以内 3・1億2,000万円以内	5,700万円以内
ご返済期間	20年間以内 (返済開始は1年目)	7年間以内
ご返済方法	元金均等返済 元金元金均等返済	元金均等返済

「振興事業貸付」とは？

- 融資対象の業種は生活衛生関係の業種のみでご利用いただける融資制度です。
- 生活衛生関係の業種は「飲食業」「理容業」「クリーニング業」「美容業」「興行業」です。
- ご融資にあたっては、融資対象業種の業種(組合)の役員(代表者)がご融資の承認書(保証書)を提出する必要があります。
- 貸付利率は、日本政策金融公庫の貸付利率に優遇させていただきます。

ご相談は、日本政策金融公庫の窓口までお気軽にどうぞ。なお、審査の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。

お問い合わせ先 松山支店 三浦 裕子 0570-085302
宇和島支店 宇和島市丸之内1-3-24 0570-087364
新居浜支店 新居浜市本町3-3 0570-086894

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業
https://www.jfc.go.jp/